

## 経営体の概要

- ・所在地：佐賀県伊万里市
- ・経営体名：A氏
- ・栽培作物・作付面積：きゅうり・92a  
(土耕栽培 27a 養液栽培 65a)
- ・労働力：本人、従業員3名、パート10名  
(令和5年5月現在)

## 導入技術

- ・環境測定装置「CO<sub>2</sub>ナビアドバンス」(株)ニッポー)
- ・統合環境制御装置 (株)三基計装)
- ・飽差制御盤 (株)ニッポー)
- ・灯油式CO<sub>2</sub>発生機 (株)ネポン)
- ・その他 (ヒートポンプ、ドライミスト、日射比例灌水)
- ・隔離培地による養液栽培

CO<sub>2</sub>を群落内へ施用ドライミストによる  
ハウス内環境の  
改善

ヤシガラ培地による養液栽培

## 導入経緯

- 佐賀県では、施設園芸品目の高収量栽培につながる先進技術の検討及び導入が進められている。
- そこで増収を目的に、平成26年から環境制御技術(CO<sub>2</sub>施用、ドライミスト、日射比例灌水)を導入。
- さらに生産性向上を目指し、平成30年から隔離培地養液栽培を導入。

## 取組の特徴・効果

- 環境測定装置の導入により、「見える化」された環境測定値に基づいてハウス内環境を改善し、10a当たり収量を就農当初の30tから40t(H30)に増量。
- ドライミストの導入により、ハウス内湿度を適正に保つことが可能。
- 日射比例灌水の導入により、日射量に合わせて灌水し、地下部環境の最適化が可能。
- 耐候性ハウス高軒高施設の新設で、作業環境を改善し生産性を向上。
- 今後は、10a当たり収量40t以上を維持しながら、養液栽培を拡大し、土作り作業等による非収穫期間を短縮した栽培期間延長、雇用の導入による規模拡大を進め、経営の安定に取り組む。併せて、産地全体の生産性向上のため、これら技術の共有・普及を目指す。